

新

平成31年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより 4月下旬に250冊入荷

モリモリ書店

第2話 H31.4.11(木)
「走れ一人で泣くときも。
涙は後ろ、体は前へ。」

★今回、紹介する本は、『カゲロボ』(著/木皿泉、出版/新潮社)です。

木皿泉さんはテレビドラマを手がける有名な脚本家。そして、実は、「木皿泉」は人の名前ではなく、夫婦の協同ペンネーム。つまり、二人で書いているってことです(『野ブタ。をプロデュース』や前田敦子がロボットを演じた『Q10』などが有名ですが…)。

そんな作者の新作短編集。どのお話にも、「人間ではない何か別の存在」がほのめかされて、その存在が人間を見守ってくれているというようなちょっとSFな設定。

でも、扱うテーマは、人間関係を中心に、心に悩みを抱えた人物たちがさまざまな出来事とおして、自分を見つめ直していくような人間ドラマばかりです。現実的ではあるけれど、SFチックなところもあり、とても不思議な味わい。何かいやなことがあっても、一歩踏み出そうと思わせてくれる作品です。



本屋大賞は、瀬尾まい子さんでしたね……

傷口は、ちゃんと糸縫えばいいんですよ。

『何も起こらなからた』

ひとひとの言葉が、
そとに
よりよ、てくれます。

幸せ。』
(p.217)

『自分を傷つけ』

られるのは、
自分だけよ。』
(p.246)

